

2026年度実施（調査対象：2025年度） 看護系大学に関する実態調査のお願い

本調査は、一般社団法人 日本看護系大学協議会および、一般社団法人 日本私立看護系大学協会の合同事業として、対象年度に学生を受け入れている全ての看護系大学を対象として実施するものです。調査の目的は、看護系大学の学生や教員の状態、社会貢献や研究活動の成果・発信、看護学教育にかかわる経費等の実態を把握し、日本の保健医療や社会の動向を踏まえた看護学教育のあり方を検討したのち、教育政策、看護政策等に提言するための基礎資料とすることです。両会の会員校が回答した調査データ（個別データ）につきましては、原則として当該校以外が閲覧することはございません。また、本調査は自由意思によるものであり、回答の有無ならびにその内容によって不利益を被ることはございません。

本調査の結果は、貴重なデータとなります。集計結果は日本看護系大学協議会と日本私立看護系大学協会のホームページに公開いたします。また、毎年発行している日本看護系大学協議会の事業活動報告書（定時社員総会前に配布）に掲載し、会員校はもとより厚生労働省、文部科学省にも活用されています。会員校の皆様にご協力いただきますよう、何卒お願いいたします。

なお、本調査票を提出する前に、社員（＝代表者）または看護系学部・学科に所属する教員が、責任をもって回答内容の最終チェックを行ってください。

アンケートの回答方法について

- ☐ [1つに○]の場合は、左記のラジオボタンをクリックで回答してください。回答を間違ってしまった場合は、**右記の赤い「クリア」**に表示されている数値を削除すると回答がリセットされます。

クリア

1

ここに表示されている番号を
Deleteキーで削除します

- ☐ [いくつでも○]の場合は、左記のチェックボックスをクリックで回答してください。回答を間違ってしまった場合は、その箇所を再度クリックすることでリセットされます。

□枠の場合は、数値(青)もしくは文字(黄)にて回答してください。

※空欄は欠損値、「0」は有効回答となります。「0」の場合は必ず「0」をご入力ください。

アンケートの提出締切日について

誠にお手数ですが **2026年12月7日(月)** までにご回答をお願いいたします

前年度からの設問・注記の変更箇所

- ①Q14、Q15 ナースプラクティショナー課程の区分に「(3)日本看護系大学協議会および日本NP教育大学院協議会認定」を追加
- ②Q14、Q15 博士後期課程院生の内訳に「DNPコース」を追加
- ③Q16 修士課程修了者合計欄と、その内訳である高度実践看護師教育課程欄の配置を変更
- ④Q17 「Ⅱ その他の研究費」の項目名の一部を修正、具体例を追記
「財団等の研究助成による研究」→「財団・学会等(財団、民間NPO、学会等)による研究助成金」
「企業等による教育研究奨励費」→「企業等による教育研究奨励費(奨励費、寄付講座、寄付金等)」
- ⑤Q25-D 回答選択肢に「視聴覚メディア教材(DVD等)を用いた学習」を追加

入力マニュアルについて

入力内容に誤りが多い点や、わかりにくい点を補足説明する入力マニュアルを作成いたしました。必ずマニュアルを確認しながら回答してください。

入力マニュアル 該当箇所には目印がございます。URLはこちら ⇒ <https://www.janpu.or.jp/file/2026manual.pdf>

調査票の回答手順について(入力マニュアル・質疑応答集)

1. 今年度の設問の修正箇所に注意しながら、調査票の設問および注記について確認を行う
2. 回答方法に疑問や不明な点がある場合、【**入力マニュアル**】を確認する
3. 入力マニュアルで解決しない場合、より細かな内容が記載されている【**質疑応答集**】を確認する
4. どちらにも回答がない場合、下記の問い合わせ先にメールにて連絡をする

アンケートの問い合わせ先 ※お問い合わせはメールでお願いいたします。

1. 調査の内容、集計に関すること

慶應義塾大学(JANPUデータベース委員会 委員長 永田智子)

e-mail:survey@janpu.or.jp

メールの件名は【**JANPU実態調査の問い合わせ**】としてください。

2. 提出方法、会員コードに関すること

一般社団法人日本看護系大学協議会事務局

e-mail:office@janpu.or.jp

TEL:03-6206-9451 FAX:03-6206-9452

貴大学の情報について (必ず回答してください。)

JANPU会員コードを入力してください。※「大学名」と「設置主体」は、自動で表示されます。

JANPU
会員コード

会員コード表

※会員コードがわからない場合は、クリックしてください

大学名

設置主体

回答責任者

ご所属名

お名前

※社員(＝代表者)または看護系学部・学科に所属する教員が、責任をもって回答内容の最終チェックを行ってください

1. 看護系学部・学科について

Q1. 看護系の学部・学科は、2025年度において卒業生を出しましたか。〔1つだけ○〕

- ☐ 1. 出している ☐ 2. 出していない

Q2. 看護系の学部・学科に編入制度はありますか。〔いくつでも○〕

- ☐ 1. 3年次編入(有資格者)制度がある ☐ 2. 2年次学士編入制度がある ☐ 3. 3年次学士編入制度がある ☐ 4. ない

↓ Q2で「1. 3年次編入（有資格者）制度がある」と回答された方にお聞きます

Q3. 2025年度入学者の出身学校種別の内訳を教えてください。〔数値回答〕

①専修学校卒業者数	②短期大学卒業者数
人	人

Q4. 看護系学部・学科の構成員として所属する全教員数(常勤)を教えてください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

※2025年度(2025年5月1日時点)の状況を、令和7年度の文部科学省学校基本調査を参考にご回答ください。

- ！

教員数について（下記はQ4、Q5、Q6に共通の定義となります）

 - 常勤の人数のみをカウントしてください。（非常勤は含まない）
 - 他学部、他学科はカウントに含みません。
 - 看護教員は、【看護師、助産師、保健師】いずれかの免許を取得している教員です。
 - 特任教員は、常勤であればカウントに含まれます。（臨床教員は含まない）
 - 附属研究機関がある場合は、そこに所属する教員もカウントに含めてください。
 - Q4の⑦その他は教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者などは含みません。
 - Q4の⑧「未充足数」は、募集しているにもかかわらず、適任者を得られていない人数です。

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
		合 計	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	その他	未充足数
全 体	男性	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	未充足数 合計 (自動計算) 0 人
	女性	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	
	計	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	
看護教員	男性	0 人							看護教員の 未充足数を ご回答くださ い 人
	女性	0 人							
	計	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	
それ以外の教員 *上記看護教員 以外の教員	男性	0 人							それ以外の 教員の未充 足数をご回 答ください 人
	女性	0 人							
	計	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	

は自動計算されます

0 人の場合は「0」を入力してください

部分のみをご入力ください

Q5. 看護系学部・学科に所属する看護教員の年齢別人数を教えてください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

※2025年度(2025年5月1日時点)の状況を、令和7年度の文部科学省学校基本調査を参考にご回答ください。

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		合 計	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
看護教員計		0 人						

は自動計算されます

0 人の場合は「0」を入力してください

部分のみをご入力ください

注1 Q4の「それ以外の教員」はこの設問には含みません。

Q6. 看護系学部・学科に所属する看護教員の最終修得学位別名称の人数を教えてください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

※2025年度(2025年5月1日時点)の状況を、令和7年度の文部科学省学校基本調査を参考にご回答ください。

		①	②	③	④	⑤
		合 計	学士	修士	博士	学位なし
看護教員計		0 人	0 人	0 人	0 人	
学位の種類	看護学	0 人				
	保健学	0 人				
	医 学	0 人				
	教育学	0 人				
	学 術	0 人				
	その他	0 人				

は自動計算されます

部分のみをご入力ください

0 人の場合は「0」を入力してください

注1 教員一人あたりひとつの学位(最上位の学位)でご記入ください。同等の学位を二つ以上お持ちで、その中に看護学が含まれる場合は、看護学を最優先してご記入ください。

注2 最終学歴が「看護学」「医学」の場合、当該箇所に人数を計上してください。「その他」とは、「保健看護学」「健康科学」「人間科学」「医科学」等です。学士や修士で「看護学」であっても博士が「医学」であれば、「医学」で計上してください。

注3 準学士・短期大学士(短期大学卒業)は学位なしに含みます。

注4 Q4の「それ以外の教員」はこの設問には含みません。

★ Q4、Q5、Q6の太枠「看護教員」の合計人数は、必ず一致させてください

2. 看護系大学院について

Q7. 看護系の大学院はありますか。〔1つだけ○〕

※2025年度においてご回答ください。

※以下の場合は「1. ある」とご回答ください。

- ・「看護学」「医学」「その他」のいずれかであっても学習内容が「看護学」である場合、「1. ある」としてください。
- ・大学が複数のキャンパスを持ち、大学院を共有している場合は、大学院の本部機能があるキャンパスのみ「1. ある」としてください。

☐ 1. ある

☐ 2. ない

→ Q13へ進む

↓ Q7で「1. ある」と回答された方にお聞きします

Q8. 看護系の修士課程/博士前期課程は完成年次を迎えていますか。〔1つだけ○〕

※2025年度においてご回答ください。

☐ 1. 完成年次を迎えている

☐ 2. 完成年次を迎えていない

Q7で「1. ある」と回答された方にお聞きします

Q9. 看護系の博士課程/博士後期課程は完成年次を迎えていますか。〔1つだけ○〕

※2025年度においてご回答ください。

☐ 1. 完成年次を迎えている

☐ 2. 完成年次を迎えていない

☐ 3. 開設していない

Q7で「1. ある」と回答された方にお聞きします

Q10. 看護系大学院の開講状況について〔1つだけ○〕

※2025年度においてご回答ください。※夜間開講の定義は「18時以降に開講」すること。

※以下の場合は「3. 1と2の両方を開講」とご回答ください。

- ・「平日昼夜開講」の場合
- ・修士課程/博士前期課程と博士後期課程で開講時間が異なる場合
(例：修士課程/博士前期課程は「昼のみ開講」、博士後期課程が「夜間開講」の場合)

☐ 1. 平日昼間開講のみ

☐ 2. 平日夜間・土日開講のみ

☐ 3. 1と2の両方を開講

Q7で「1. ある」と回答された方にお聞きします

Q11. 看護系大学院の科目等履修制度の設置について〔1つだけ○〕

※2025年度においてご回答ください。

☐ 1. 設置している

☐ 2. 設置していない

Q 7で「1. ある」と回答された方にお聞きします
 Q12. 看護学系大学院に構成員として所属する教員数(常勤)を教えてください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

※2025年度(2025年5月1日時点)の状況を、令和7年度の文部科学省学校基本調査を参考にご回答ください。

- !

構成員として所属する教員数

 - 常勤の人数のみをカウントしてください。(非常勤は含まない)
 - 大学院のシラバスに名前が入っている教員を構成員としてカウントしてください。
 - 専任とは、単位認定を行っている教員です。
 - 看護教員は、【看護師、助産師、保健師】いずれかの免許を取得している教員です。
 - 特任教員は、常勤であればカウントしてください。(臨床教員は含まない)
 - 附属研究機関がある場合は、そこに所属する教員もカウントに含めてください。
 - ⑦その他は教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者などは含みません。

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		合 計	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	その他
全 体	男性	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	女性	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	計	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	内、大学院専任数	男性	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
		女性	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
		計	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
看護教員	男性	0 人						
	女性	0 人						
	計	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	内、大学院専任数	男性						
		女性						
		計	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
それ以外の教員 * 上記看護教員以外の教員	男性	0 人						
	女性	0 人						
	計	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	内、大学院専任数	男性						
		女性						
		計	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

は自動計算されます

部分のみをご入力ください

0人の場合は「0」を
 入力してください

3. 看護系大学学部・学科、大学院の学生情報について

Q13. 看護系の学部・学科、大学院の全在学生数を教えてください。〔各数値回答〕

※2025年度(2025年5月1日時点)の状況を、令和7年度の文部科学省学校基本調査を参考にご回答ください。
※休学者も含めてご回答ください。
※学部の保健師コースについては、Q27でお聞きします。

	①	②	③
	合計	男	女
学部生	0 人	人	人
内、編入学生	0 人	人	人
保健師専攻科生・別科生	0 人	人	人
助産師専攻科生・別科生	0 人	人	人
修士課程/博士前期課程院生	0 人	人	人
博士後期課程院生	0 人	人	人

0 人の場合は「0」を入力してください

は自動計算されます部分のみをご入力ください

4. 看護系大学学部・学科、大学院の入学状況

Q14. 看護系の学部・学科、大学院の入学状況を教えてください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

※2025年度の状況で回答ください。

看護系での入学定員を定めていない場合は
⑧にチェックをつけ、①は空欄として下さい。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	入学定員	計	男	女	計	男	女	入学定員 不明
学部生	人	0 人	人	人	0 人	人	人	☐
内、編入学生	人	0 人	人	人	0 人	人	人	☐
保健師専攻科生・別科生	人	0 人	人	人	0 人	人	人	☐
助産師専攻科生・別科生	人	0 人	人	人	0 人	人	人	☐
修士課程/博士前期課程院生	人	0 人	人	人	0 人	人	人	☐
内 訳 ※ 4	研究コース ※1	人	0 人	人	0 人	人	人	☐
	専門看護師課程(CNS) ※2	人	0 人	人	0 人	人	人	
	ナースプラクティショナー課程 (1) 日本看護系大学協議会認定	人	0 人	人	0 人	人	人	
	ナースプラクティショナー課程 (2) 日本NP教育大学院協議会認定	人	0 人	人	0 人	人	人	
	ナースプラクティショナー課程 (3) 日本看護系大学協議会および 日本NP教育大学院協議会認定	人	0 人	人	0 人	人	人	
	保健師コース	人	0 人	人	0 人	人	人	
	助産師コース	人	0 人	人	0 人	人	人	
	養護教諭専修コース	人	0 人	人	0 人	人	人	
上記以外のコース ※3	人	0 人	人	0 人	人	人		
博士後期課程院生	人	0 人	人	人	0 人	人	人	☐
内 訳	DNPコース	人	0 人	人	0 人	人	人	

0 人の場合は「0」を入力してください

は自動計算されます部分のみをご入力ください

※1 研究コースとは、下記の各種の資格取得を目指すものではなく、修士論文作成・審査を行い、大学院修了を目指す課程とする。
※2 専門看護師課程とは、日本看護系大学協議会の高度実践看護師教育課程で既に認定されているものをいう。
※3 上記以外のコースとは、CNS、保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格、養護教諭専修免許、研究コース以外の教育課程であって、修了時に修士の学位を与えるものをいう。
※4 志願時および入学時にコースの内訳を決めていない場合は、内訳の記入は不要です。

5. 看護系大学・大学院の卒業生・修了生の状況

Q15. 看護系の学部・学科、大学院の卒業・修了状況を教えてください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

※2025年度の状況で回答ください。

※国家試験合格者数または養護教諭一種取得者数に、既卒者は含まないで回答ください。

		①	②		③		④		⑤	
		卒業生 修了生	国家試験合格者数または養護教諭一種取得者数							
			看護師	保健師	助産師	養護教諭 一種				
学部卒業			人		人		人		人	
	内、編入学		人		人		人		人	
保健師専攻科生・別科生			人		人		人		人	
助産師専攻科生・別科生			人		人		人		人	
修士課程/博士前期課程修了		0	人		人		人		人	
内 訳	研究コース ※1		人		人		人		人	
	専門看護師課程(CNS) ※2		人		人		人		人	
	ナースプラクティショナー課程 (1)日本看護系大学協議会認定		人		人		人		人	
	ナースプラクティショナー課程 (2)日本NP教育大学院協議会認定		人		人		人		人	
	ナースプラクティショナー課程 (3)日本看護系大学協議会および 日本NP教育大学院協議会認定		人		人		人		人	
	保健師コース		人		人		人		人	
	助産師コース		人		人		人		人	
	養護教諭専修コース		人		人		人		人	
	上記以外のコース ※3		人		人		人		人	
博士後期課程修了 ※4		人		人		人		人		
内 訳	DNPコース		人		人		人		人	
論文博士号取得		人		人		人		人		

0人の場合は「0」を入力してください

- ※1 研究コースとは、下記の各種の資格取得を目指すものではなく、修士論文作成・審査を行い、大学院修了を目指す課程とする。
- ※2 専門看護師課程とは、日本看護系大学協議会の高度実践看護師教育課程で既に認定されているものをいう。
- ※3 上記以外のコースとは、CNS、保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格、養護教諭専修免許、研究コース以外の教育課程であって、修了時に修士の学位を与えるものをいう。
- ※4 博士後期課程修了とは、修了要件(修業年限以上在学し、必要な単位取得と論文審査および最終試験の合格)を満たし博士の学位を取得した者であり、単位取得(満期)退学は含まない。

6. 看護系大学・大学院の卒業生・修了生の就職・進学状況

Q16. 看護系の学部・学科、大学院の卒業・修了生の就職または進学状況を教えてください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

※2025年度の状況で回答ください。

※就職・進学のどちらかを選択して回答してください。両方に該当する者がいた場合、フルタイムの方を主軸として選択してください。

なお、就職も進学もしていない場合は、下段の「その他」に記入してください。

※社会人学生が現職を継続する場合は、「就職者」としてご回答ください。

※「就職者」については、職種や雇用形態は問いません。非正規雇用の場合でも「就職者」としてご回答ください。

		①	②			③	④
		学部 卒業生	修士修了生		合計	博士後期 課程修了生	
			高度実践看護 師教育課程の み※				
就 職 者	病院・診療所		人		人	人	
	介護・福祉施設		人		人	人	
	訪問看護ステーション		人		人	人	
	都道府県、市町村（保健所・保健センター等）・健診機関		人		人	人	
	企業		人		人	人	
	学校等（教諭・看護職として）		人		人	人	
	大学・短大・研究機関等		人		人	人	
	専修・各種学校		人		人	人	
	その他（行政職を含む）		人		人	人	
進 学 者	国内の大学院（看護系）		人		人	人	
	国内の大学院（看護系以外）		人		人	人	
	助産師課程（専攻科、別科、専修学校等）		人		人	人	
	保健師課程（専攻科、専修学校等）		人		人	人	
	国内の他学部		人		人	人	
	海外留学		人		人	人	
	その他		人		人	人	
その他（具体的な内容を下欄にご記入ください）			人		人	人	

0 人の場合は
「0」を入力してください

※高度実践看護師教育課程とは、「専門看護師教育課程」および「ナースプラクティショナー教育課程」を指す。

7. 教員の研究活動および社会貢献について

Q17. 看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動についてお聞きます。〔各数値回答〕

入力マニュアル

※医療系の資格をもたない教員も含まれます。
 ※研究代表者の件数のみご記入ください。（分担研究者は含まない）
 ※まず2025.4.1～2026.3.31までの交付内定件数を記入してください。
 申請件数欄には当該交付内定のために申請した件数（前年度申請の場合は2024年度申請分、同じ年度内申請の場合は2025年度申請分）を記入してください。
 内定交付が0件の場合も当該研究費の申請があった場合は申請件数を記入してください。
 ※申請件数以外は2025年度に発生したものを回答してください。
 ※なんらかの理由で研究期間が延長している場合も継続に含んでください。

		①						②		③		④	
		取得件数						研究費合計金額					
		新規件数				継続件数							
		申請件数		交付内定件数									
			件		件		件		円				
Ⅰ 科学 研究 費 助 成 事 業 (科 研 費)	基盤研究(S)			件		件		件		円			
	基盤研究(A)			件		件		件		円			
	基盤研究(B)			件		件		件		円			
	基盤研究(C)			件		件		件		円			
	挑戦的萌芽研究			件		件		件		円			
	挑戦的研究(開拓)			件		件		件		円			
	挑戦的研究(萌芽)			件		件		件		円			
	若手研究			件		件		件		円			
	特別推進研究			件		件		件		円			
	新学術領域研究			件		件		件		円			
研究活動スタート支援			件		件		件		円				
その他			件		件		件		円				
Ⅱ そ の 他 の 研 究 費	厚生労働科学研究費補助金			件		件		件		円			
	財団・学会等(財団、民間NPO、学会等)による研究助成金			件		件		件		円			
	企業等による教育研究奨励費(奨励費、寄付講座、寄付金等)			件		件		件		円			
	企業等による受託研究費			件		件		件		円			
	日本医療研究開発機構(AMED)による研究費			件		件		件		円			
	その他(具体的な研究活動費を下欄にご記入ください)			件		件		件		円			

0件の場合は「0」を入力してください

(注1) 合計金額は、新規交付内定分と継続交付内定分を合わせ、2025年度に配分された総合計金額(間接経費を含む)をご記入ください。
 (注2) 外国政府などによる外貨での実績は、円換算をして表記してください。

Q18. 2025年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座について、実施の有無をご記入ください。

	有	無
一般市民向け公開講座	○	○
看護職者等の専門職向け講座	○	○
その他	○	○

※看護系教員が企画立案した講座も含めてカウントしてください。
 ※看護系教員が企画運営に携わり、テーマの大半を看護系教員が行っているものはカウントしてください。
 ※委託事業の場合でも、看護教員が当該講座の実施主体であれば、学部・学科、大学院の公開講座としてカウントしてください。

8. FD・SDの状況について

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。
2025年度内に開催されたFD及びSDの実施の有無をご記入ください。

看護系単科大学の場合は、「看護系の学部・学科、大学院主催のFD・SD」のみに記入してください。
FDとSDの研修会を合同で開催した場合は、それぞれに「有」として記入してください。

	有	無
全学主催のFD	☐	☐
全学主催のSD	☐	☐
看護系の学部・学科、大学院主催のFD	☐	☐
看護系の学部・学科、大学院主催のSD	☐	☐

9. 教員および学生の評価について

Q20. 2025年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の取り組みについて伺います。

A. 教員の自己評価・他者評価が実施されていますか。[1つだけ○]

- ☐ 1. 実施している ☐ 2. 実施していない ☐ 3. 検討中

B. 学生の授業評価を実施していますか。[1つだけ○]

※大学全体として実施している場合でも、看護系の学部・学科、大学院がかかわっていればご回答ください。

- ☐ 1. 実施している ☐ 2. 実施していない ☐ 3. 検討中

C. GPA制度を導入していますか。[1つだけ○]

- ☐ 1. 導入している ☐ 2. 導入していない ☐ 3. 検討中

Q20-Cで「1. 導入している」と回答された方にお聞きます

D. GPA制度は何に活用していますか。[当てはまるものすべてに○]

- ☐ 1. 進級判定 ☐ 2. 奨学金の選考または授業料免除 ☐ 3. 学修支援(成績優秀者・成績低迷者)
☐ 4. 履修指導 ☐ 5. 大学院進学 ☐ 6. 就職指導 ☐ 7. 教学IR(教育効果の評価)
☐ 8. その他

E. CAP制度を導入していますか。[1つだけ○]

- ☐ 1. 導入している ☐ 2. 導入していない ☐ 3. 検討中

10. 看護関連の研修事業と附属施設について

Q21. 貴大学には、看護関連の研修事業がありますか。[いくつでも○]

※研修事業とは大学で実施している看護職者や看護教員を対象とした研修プログラムまたは研修会などの事業を指し、「実習施設の実習指導者への研修会」や委託事業も含まれます。

- ☐ 1. 認定看護師教育課程
☐ 2. 認定看護管理者教育課程
☐ 3. 特定行為研修
☐ 4. 実習指導者講習会
- ☐ 5. 看護教員養成課程
☐ 6. その他
- ☐ 7. 研修事業がない

Q22. 貴大学における、看護関連の附属施設・研究機関について伺います。

※大学に附属する看護関連の附属施設・研究機関です。附属病院は含みません。

A. 看護関連の附属施設・研究機関の有無 [1つだけ○]

- ☐ 1. ある
☐ 2. ない

→ Q23へ進む

↓ Q22-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きます

B. 組織構成について人数をご記入ください。[各数値回答]

入力マニュアル

※2025年5月1日時点の人数を、令和7年度の文部科学省学校基本調査を参考にご回答ください。
※附属施設・研究機関に関わっている構成員の全ての人数を記入ください。看護学部・学科所属以外の職員が兼務している場合も構成人数に含みます。

	①		②		③	
	合計		専任		兼任	
教 員	0	人		人		人
研究員	0	人		人		人
職 員	0	人		人		人
その他	0	人		人		人

0人の場合は「0」を入力してください

は自動計算されます

部分のみをご入力ください

Q22-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きます

C. 財政基盤について [いくつでも○]

※ 財政基盤とは、人件費、施設維持管理費、光熱費など、その施設の運営を支える予算を指します。

- ☐ 1. 大学の予算内
☐ 2. 国・自治体の助成
☐ 3. 民間の助成
- ☐ 4. その他

Q22-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きます

D. 活動内容について [いくつでも○]

- ☐ 1. 市民向けの生涯学習・健康教育
☐ 2. 国際交流
- ☐ 3. 共同研究
☐ 4. 教員や研究員による看護実践の提供
- ☐ 5. 看護職のための継続教育
☐ 6. 講師の派遣
- ☐ 7. その他

11. 国際交流の状況について

Q23. 2025年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

A. 看護系の学部・学科、大学院の国際交流協定校・施設（姉妹校を含む）がありますか。〔1つだけ〇〕

☐ 1. ある
☐ 2. ない
→ Q23-Cへ進む

Q23-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きします

B. 看護系の学部・学科、大学院の国際交流協定校・施設の学校数（施設数）を国別にお教えてください。

※①～⑩の欄に学校数の多い順にご記入ください。

	国 名	学校数
①		校
②		校
③		校
④		校
⑤		校

	国 名	学校数
⑥		校
⑦		校
⑧		校
⑨		校
⑩		校

C. 看護系の学部・学科、大学院の在学生の留学先の国名と人数をお教えてください。

※①～⑩の欄に人数の多い順にご記入ください。 ※留学先は、単位取得できるものとします。 ※研修は除いてください。

公費補助がない場合には、必ず 0 とご記入ください。

	国 名	留学者数	
		計	公費補助
①		人	人
②		人	人
③		人	人
④		人	人
⑤		人	人

	国 名	留学者数	
		計	公費補助
⑥		人	人
⑦		人	人
⑧		人	人
⑨		人	人
⑩		人	人

※留学生の定義：「国籍と異なる国において学ぶ目的をもって入国した者」であり、「期間は問わず、留学先の教育機関が出す修了証もしくは単位を取得した者」（以下の「D」も同様）

D. 看護系の学部・学科、大学院への留学生の受け入れの人数を国別にお教えてください。

※①～⑩の欄に人数の多い順にご記入ください。 ※研修は除いてください。

公費補助がない場合には、必ず 0 とご記入ください。

	国 名	受け入れ人数	
		計	公費補助
①		人	人
②		人	人
③		人	人
④		人	人
⑤		人	人

	国 名	受け入れ人数	
		計	公費補助
⑥		人	人
⑦		人	人
⑧		人	人
⑨		人	人
⑩		人	人

E. 看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の短期海外派遣の人数を国別にお教えてください。

※①～⑩の欄に人数の多い順にご記入ください。 ※医療系の資格をもたない教員も含まれます。
※短期海外派遣とは、6ヵ月未満の派遣期間のことを表します。(国際学会への参加は除く)

公費補助がない場合には、必ず 0 とご記入ください。

	国 名	短期海外派遣人数	
		計	公費補助
①		人	人
②		人	人
③		人	人
④		人	人
⑤		人	人

	国 名	短期海外派遣人数	
		計	公費補助
⑥		人	人
⑦		人	人
⑧		人	人
⑨		人	人
⑩		人	人

F. 看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の長期海外派遣の人数を国別にお教えてください。

※①～⑩の欄に人数の多い順にご記入ください。 ※医療系の資格をもたない教員も含まれます。
※長期海外派遣とは、6ヵ月以上の派遣期間のことを表します。

公費補助がない場合には、必ず 0 とご記入ください。

	国 名	長期海外派遣人数	
		計	公費補助
①		人	人
②		人	人
③		人	人
④		人	人
⑤		人	人

	国 名	長期海外派遣人数	
		計	公費補助
⑥		人	人
⑦		人	人
⑧		人	人
⑨		人	人
⑩		人	人

G. 海外からの学生以外の受け入れの人数を国別にお教えてください。

※①～⑩の欄に人数の多い順にご記入ください。 ※学生以外…教員、研究者、実践家等

公費補助がない場合には、必ず 0 とご記入ください。

	国 名	受け入れ人数	
		計	公費補助
①		人	人
②		人	人
③		人	人
④		人	人
⑤		人	人

	国 名	受け入れ人数	
		計	公費補助
⑥		人	人
⑦		人	人
⑧		人	人
⑨		人	人
⑩		人	人

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援※の有無とその内容を教えてください。

		大学独自の経済的支援		「有」と回答した場合、その内容を簡潔に記載してください。
		有	無	
学生	受入	☐	☐	
	派遣	☐	☐	
教員	受入	☐	☐	
	派遣	☐	☐	

※大学独自の経済的支援…奨学金、学費免除、生活費支援、宿舍などの提供を意味しています

12. ハラスメント、コンプライアンスに関する取り組みについて

Q24. 2025年度における貴大学のハラスメント防止、コンプライアンスの推進への取り組みについてお伺いします。

※本調査では、学内の委員会や管理部門等が「ハラスメント」と認めたものをカウントしてください。

A. 貴校(大学全体)にはハラスメントに関する事項を専門に扱う相談窓口や委員会がありますか。[1つだけ○]

- ☐ 1. 相談窓口のみある ☐ 2. 委員会のみある ☐ 3. 相談窓口・委員会ともにある
☐ 4. 相談窓口・委員会ともない

B. 看護系の学部・学科において、ハラスメント事例の発生がありましたか。[1つだけ○]

- ☐ 1. あった ☐ 2. なかった ☐ 3. 回答できない

→ Q24-Dへ進む

▼ Q24-Bで「1. あった」と回答された方にお聞きします

C. 看護系の学部・学科において、発生したハラスメント事例に該当するものを選択してください。[いくつでも○]

- ☐ 1. 教職員から学生へのハラスメント ☐ 2. 教職員から教職員へのハラスメント
☐ 3. 学生から学生へのハラスメント
☐ 4. その他
☐ 5. 回答できない

D. 貴校(大学全体)にはコンプライアンス※に関する事項を専門に扱う委員会等がありますか。[1つだけ○]

- ☐ 1. ある ☐ 2. ない
 ※コンプライアンス…法令・学則・教育研究固有の倫理、その他の規則を遵守する事案をいう

E. 貴校(大学全体)では利益相反※に関するポリシーなどを定めていますか。[1つだけ○]

- ☐ 1. ある ☐ 2. ない
 ※利益相反…教職員が企業等との関係で有する利益や責務が大学における責任と衝突する状況をいう

F. 貴校(大学全体)では利益相反に関する個人の金銭的情報について、教職員に報告義務(学内での開示制度)がありますか。[1つだけ○]

- ☐ 1. ある ☐ 2. ない → Q25へ進む

▼ Q24-Fで「1. ある」と回答された方にお聞きします

G. 貴校(大学全体)での報告義務について教えてください。[1つだけ○]

- ☐ 1. 該当事項の有無に関わらず定期的に報告する ☐ 2. 該当事項がある場合に報告する
☐ 3. 特に決まっていない

13. 学修支援などについて

Q25. 2025年度における貴大学の学修支援等についてお伺いします。

A. 貴校(大学全体)には障がいのある学生への学修支援や相談について、相談窓口や委員会はありますか。[1つだけ○]

○1. 相談窓口のみある ○2. 委員会のみある ○3. 相談窓口・委員会ともにある ○4. いずれもない

B. 看護系の学部・学科において、大学入学前教育を行っていますか。[1つだけ○]

※大学入学前教育とは、学習意欲を継続する観点から入学試験の合格者に対して行う教育を指す。

○1. 実施している

○2. 実施していない

○3. 今後の実施を検討中

Q26へ進む

▼ Q25-Bで「1. 実施している」と回答された方にお聞きます

C. 大学入学前教育の対象者についてお答えください。[いくつでも○]

☐ 1. A0入学予定者☐ 2. 推薦入学予定者☐ 3. 全入学予定者☐ 4. その他

Q25-Bで「1. 実施している」と回答された方にお聞きます

D. 学習形態についてお答えください。[いくつでも○]

☐ 1. e-learning☐ 2. 集合教育(集中講座・セミナー等)☐ 3. 課題・レポート提出☐ 4. 遠隔教育(オンライン)☐ 5. 視聴覚メディア教材(DVD等)を用いた学習☐ 6. その他

Q25-Bで「1. 実施している」と回答された方にお聞きます

E. 実施体制についてお答えください。[1つだけ○]

○1. 大学が単独で実施

○2. 外部に委託

○3. 大学と外部委託の両方

○4. 高校と大学が連携して実施

○5. その他

Q25-Bで「1. 実施している」と回答された方にお聞きます

F. 費用負担についてお答えください。[1つだけ○]

○1. 全額大学負担

○2. 全額自己負担

○3. 一部大学／一部自己負担

○4. 費用は発生しない

○5. その他

14. 大学と実習施設等の教育連携について

Q26. 2025年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

A. 施設で実施されている新人看護師研修や臨床実習指導者研修などを、組織として支援していますか。[1つだけ○]

○1. 支援している

○2. 支援していない

Q26-Cへ進む

▼ Q26-Aで「1. 支援している」と回答された方にお聞きます

B. よろしければ支援の内容等について、具体的にご記入ください。

C. 実習施設等と大学間において、人事交流(ユニフィケーション)の制度や取り組みがありますか。[1つだけ○]

○1. ある

○2. ない

Q26-Eへ進む

▼ Q26-Cで「1. ある」と回答された方にお聞きます

D. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

E. 実習施設等との共同研究や合同研修(勉強会)等の制度や取り組みがありますか。〔1つだけ○〕

○ 1. ある

○ 2. ない

→ Q26-Gへ進む

▼ Q26-Eで「1. ある」と回答された方にお聞きます

F. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

G. 臨床教授(臨床准教授・講師を含む)制度を導入していますか。〔1つだけ○〕

○ 1. 導入している

○ 2. 導入していない

→ Q26-Iへ進む

▼ Q26-Gで「1. 導入している」と回答された方にお聞きます

H. よろしければ制度の内容等について、具体的にご記入ください。

I. 看護師教育課程に関わる臨地実習について課題や問題はありますか。〔各いくつでも○〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
看護学領域	課題や問題はない	実習施設の不足／確保困難	教員の不足 (臨時教員含む)	実習施設の受け入れ条件 (時期・制約・就職など) が厳しい	実習先の職員から受けるハ ラスメント	受け入れ人数の制限	男子学生受け入れの制限	実習先の看護師・保健師ス タッフの不足	足受持ち患者(対象者)の不 足	指導内容・指導者の質に関 する課題	学生の質に関する課題	日程調整に関する課題	実習環境に関する課題	患者等利用者からの暴力・ 暴言・ハラスメント	実習謝金が高いなどの課題	その他の課題※1
① 基礎	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
② 母性	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
③ 小児	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
④ 精神	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑤ 成人	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑥ 老年	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑦ 在宅	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑧ その他※2	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

※1 「その他の課題」の具体的内容を下記にご記入ください

※2 「⑧その他」を選択された場合は具体的領域名を下記にご記入ください

15. 保健師、助産師および養護教諭の教育課程について

Q27. 2025年度における貴大学の保健師、助産師および養護教諭の教育課程についてお伺いします。

A. 保健師教育課程がありますか。〔1つだけ○〕

○1. ある ○2. ない → Q27-Dへ進む

↓ Q27-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きします

B. 保健師教育課程の1学年の定員数についてご記入ください。〔各数値回答〕

①学部	②大学院	③専攻科
人	人	人

0人の場合は「0」を入力してください

Q27-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きします

C. 保健師教育課程に関わる実習で課題や問題がありますか。〔いくつでも○〕

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
課題や問題はない	実習施設の不足／確保困難	教員の不足 （臨時教員含む）	が厳しい （時期、制約、就職など）	実習施設の受け入れ条件	実習先の職員から受けるハラスメント	受け入れ人数の制限	男子学生受入れの制限	不足 実習先の保健師スタッフの	経験できる事業の不足	指導内容・指導者の質に関する課題	学生の質に関する課題	日程調整に関する課題	実習環境に関する課題	患者等利用者からの暴力・暴言・ハラスメント	実習謝金が高いなどの課題	その他の課題※
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

※「その他の課題」の具体的な内容を下記にご記入ください。

D. 助産師教育課程がありますか。〔1つだけ○〕

○1. ある ○2. ない → Q27-Gへ進む

↓ Q27-Dで「1. ある」と回答された方にお聞きします

E. 助産師教育課程の1学年の定員数についてご記入ください。〔各数値回答〕

①学部	②大学院	③専攻科・別科
人	人	人

0人の場合は「0」を入力してください

Q27-Dで「1. ある」と回答された方にお聞きします

F. 助産師教育課程に関わる実習で課題や問題がありますか。〔いくつでも○〕

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
課題や問題はない	実習施設の不足／確保困難	教員の不足 （臨時教員含む）	（時期、制約、就職など） が厳しい	実習施設の受け入れ条件	実習先の職員から受けるハラスメント	受け入れ人数の制限	助産師やスタッフの不足	受持ち患者（対象者）の不足	指導内容・指導者の質に関する課題	学生の質に関する課題	日程調整に関する課題	実習環境に関する課題	患者等利用者からの暴力・暴言・ハラスメント	実習謝金が高いなどの課題	その他の課題※
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

※「その他の課題」の具体的な内容を下記にご記入ください。

G. 養護教諭一種の教育課程がありますか。〔1つだけ○〕

○1. ある

○2. ない

→

Q28へ進む

↓

Q27－Gで「1. ある」と回答された方にお聞きます

H. 養護教諭一種の教育課程の1学年の定員数(定員が無い場合は上限を定めている数)についてご記入ください。〔各数値回答〕

①学部	②専攻科・別科
人	人

0人の場合は「0」を入力してください

Q27－Gで「1. ある」と回答された方にお聞きます

I. 養護教諭一種の教育課程に関わる実習で課題や問題がありますか。〔いくつでも○〕

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
課題や問題はない	実習施設の不足／確保困難	臨時教員の不足（含む）	が（厳しい時期、制約、就職など）	実習施設の受け入れ条件	受け入れ人数の制限	男子学生受け入れの制限	足実習学校側のスタッフの不	指導内容・指導者の質に関	する課題	学生の質に関する課題	日程調整に関する課題	実習環境に関する課題	実習先での暴力・暴言・ハラスメント	実習謝金が高いなどの課題	その他の課題※
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

※「その他の課題」の具体的内容を下記にご記入ください

16. 大学、大学院の教育運営経費等について

Q28. 2025年度の看護系の学部・学科、大学院の学納金についてお伺いします。

A. 大学の初年度の学納金について金額をご記入ください。〔各数値回答〕

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

※免除・特例は考慮せず、標準の金額となる基準値をご記入ください。 ※該当項目の無い学納金は「その他」に入れてください。

※初年度の学納金について、入学金の納付額が県内在住者と県外在住者とは異なる場合は、県外在住者の金額でご回答ください。

	入学金	授業料	実験・実習費	施設設備費	その他
大学	円	円	円	円	円
助産師専攻科・別科	円	円	円	円	円

→

大学の場合、別途徴収額がありましたらご回答ください。

	合計金額	
保健師選択者	円	※国家試験の受験資格を取得する期間の合計金額をご記入ください。 （例）3年と4年で20,000円ずつ支払う場合は40,000円と記入してください。
助産師選択者	円	
養護教諭一種	円	

B. 看護系の大学院の初年度の学納金について金額をご記入ください。〔各数値回答〕

(注) 当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。
 ※該当のコースが無い場合は、研究コースにご記入ください。
 ※初年度の学納金について、入学金の納付額が県内在住者と県外在住者とは異なる場合は、県外在住者の金額でご回答ください。

		入学金		授業料		実験・実習費		施設設備費		その他		合計	
修士課程 / 博士前期課程	研究コース		円		円		円		円		円	0	円
	専門看護師課程(CNS)		円		円		円		円		円	0	円
	ナースプラクティショナー課程(NP)		円		円		円		円		円	0	円
	保健師コース		円		円		円		円		円	0	円
	助産師コース		円		円		円		円		円	0	円
	養護教諭専修コース		円		円		円		円		円	0	円
	博士後期課程(博士)		円		円		円		円		円	0	円

は自動計算されます

Q29. 2025年度の看護系の学部・学科、大学院の独自の奨学金についてお伺いします。〔各数値回答〕

(注) 当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

	給付型		貸与型	
大学(法人)		円		円
同窓会		円		円
保護者会等		円		円
附属病院等		円		円

※年間総額をご記入ください。

Q30. 2025年度の看護系の学部・学科、大学院の学内研究費についてお伺いします。〔各数値回答〕

(注) 当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。年間1名あたりの平均金額をご記入ください。

教授	准教授	講師	助教	助手	その他※
	円	円	円	円	円

※「その他」の具体的内容を下記にご記入ください。

17. 看護師養成のための実習経費等について

Q31. 2025年度の看護師養成のための実習経費等についてお伺いします。

A. 看護学実習全体の施設数と、常勤教員を除く実習担当者数、勤務日数をご記入ください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

実習施設の全数		カ所
	非常勤教員	実習補助員
実習担当者実数 ※1	人	人
勤務総日数 ※2	日	日

※「実習補助員」は病院や施設などの実習指導のみ担当する補助員を計上してください。
「非常勤教員」とは、常勤職員や実習補助員でない教員であり、実習指導や授業などを担当する教員です。

※TAは「実習担当者の実数」に含めないでください。

※1「1名」が複数領域を担当した場合は「1名」として換算してください。
※2「1名」が複数領域を担当した場合、年間の総勤務日数として集計してください。
勤務時間が8時間相当、または日給で支払った日を換算してください。

B. 看護学実習の経費についてご記入ください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

非常勤教員・実習補助員の 時間給〔最頻値〕		円
学生1日あたり 1人分の実習委託料	最低額	最高額
病院等	円	円
その他	円	円

C. 看護学実習に対する学生への補助金の有無とその条件についてご記入ください。

補助の有無 ☐ 有り ☐ 無し

補助が有る場合、補助の条件（上限額等）の具体的内容を下記にご記入ください。

（注）教育経費以外の交通費や宿泊費等が想定されています。

D. 上記のうち、在宅看護学実習の施設数と、常勤教員を除く実習担当者数をご記入ください。〔各数値回答〕

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

	訪問看護ステーション	病院の地域連携部門等	その他
実習施設数	カ所	カ所	カ所
	雇用人数		
実習担当者実数 ※	人		

※定員以外に補助者として雇用した人数（産休代替を除く）
※「1名」が複数領域を担当した場合は「1名」として換算してください。
※TAは「実習担当者の実数」に含めないでください。

E. 在宅看護学実習の経費についてご記入ください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

非常勤教員・実習補助員の 時間給〔最頻値〕		円
学生1日あたり 1人分の実習委託料	最低額	最高額
訪問看護ステーション	円	円
病院の地域連携部門等	円	円
その他	円	円

F. 在宅看護学実習に対する学生への補助金の有無とその条件についてご記入ください。

補助の有無 ☐ 有り ☐ 無し

補助が有る場合、補助の条件（上限額等）の具体的内容を下記にご記入ください。

（注）教育経費以外の交通費や宿泊費等が想定されています。

18. 保健師養成のための実習経費等について

Q32. 2025年度の保健師養成のための実習経費等についてお伺いします。

A. 保健師養成の実習の施設数と、常勤教員を除く実習担当者数、勤務日数をご記入ください。〔各数値回答〕

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

	保健所	市区町村	地域包括支援センター	その他
実習施設数	カ所	カ所	カ所	カ所

	非常勤教員	実習補助員	その他
実習担当者実数 ※1	人	人	人
勤務総日数 ※2	日	日	日

※「実習補助員」は保健師養成の実習指導のみを担当する補助員を計上してください。
 「非常勤教員」とは、常勤職員や実習補助員でない教員であり、実習指導や授業などを担当する教員です。
 ※TAは「実習担当者の実数」に含めないでください。

※1「1名」が複数領域を担当した場合は「1名」として換算してください。
 ※2「1名」が複数領域を担当した場合、年間の総勤務日数として集計してください。
 勤務時間が8時間相当、または日給で支払った日を換算してください。

B. 保健師養成の実習の経費をご記入ください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

非常勤教員・実習補助員の 時間給〔最頻値〕	円
--------------------------	------------------------

学生1日あたり 1人分の実習委託料	最低額	最高額
保健所	円	円
市区町村	円	円
地域包括支援センター	円	円
その他	円	円

C. 保健師養成の実習に対する学生への補助金の有無とその条件についてご記入ください。

補助の有無 ☐ 有り ☐ 無し

補助が有る場合、補助の条件（上限額等）の具体的内容を下記にご記入ください。

（注）教育経費以外の交通費や宿泊費等が想定されています。

19. 助産師養成のための実習経費等について

Q33. 2025年度の助産師養成のための実習経費等についてお伺いします。

A. 助産師養成の施設数と、常勤教員を除く実習担当者数、勤務日数をご記入ください。〔各数値回答〕

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

	病院	産科医院	助産院	その他
実習施設数	カ所	カ所	カ所	カ所

	非常勤教員	実習補助員	その他
実習担当者実数 ※1	人	人	人
勤務総日数 ※2	日	日	日

※1「1名」が複数領域を担当した場合は「1名」として換算してください。
※2「1名」が複数領域を担当した場合、年間の総勤務日数として集計してください。
勤務時間が8時間相当、または日給で支払った日を換算してください。

※「実習補助員」は病院や施設などの実習指導のみ担当する補助員を計上してください。
「非常勤教員」とは、常勤職員や実習補助員でない教員であり、実習指導や授業などを担当する教員です。
※TAは「実習担当者の実数」に含めないでください。

B. 助産師養成の実習の経費をご記入ください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

非常勤教員・実習補助員の 時間給〔最頻値〕	円
--------------------------	--------------

学生1日あたり 1人分の実習委託料	最低額	最高額
病院	円	円
産科医院	円	円
助産院	円	円
その他	円	円

C. 助産師養成の実習に対する学生への補助金の有無とその条件についてご記入ください。

補助の有無 ☐ 有り ☐ 無し

補助が有る場合、補助の条件（上限額等）の具体的内容を下記にご記入ください。

（注）教育経費以外の交通費や宿泊費等が想定されています。

20. 養護教諭一種養成のための実習経費等について

Q34. 2025年度の養護教諭一種養成のための実習経費等についてお伺いします。

A. 養護教諭一種養成の実習の施設数と、常勤教員を除く実習担当者数、勤務日数をご記入ください。〔各数値回答〕

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

	学校	病院	その他
実習施設数	カ所	カ所	カ所

	非常勤教員	実習補助員	その他
実習担当者実数 ※1	人	人	人
勤務総日数 ※2	日	日	日

※1「1名」が複数領域を担当した場合は「1名」として換算してください。
※2「1名」が複数領域を担当した場合、年間の総勤務日数として集計してください。
勤務時間が8時間相当、または日給で支払った日を換算してください。

※「実習補助員」は学校などの実習指導のみ担当する補助員を計上してください。
「非常勤教員」とは、常勤職員や実習補助員でない教員であり、実習指導や授業などを担当する教員です。
※TAは「実習担当者の実数」に含めないでください。

B. 看護教諭一種養成の実習の経費をご記入ください。〔各数値回答〕

入力マニュアル

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。

非常勤教員・実習補助員の 時間給〔最頻値〕		円
--------------------------	--	---

学生1日あたり 1人分の実習委託料	最低額	最高額
学校	円	円
病院	円	円
その他	円	円

C. 看護教諭一種養成の実習に対する学生への補助金の有無とその条件についてご記入ください。

補助の有無 ☐ 有り ☐ 無し

補助が有る場合、補助の条件（上限額等）の具体的内容を下記にご記入ください。

（注）教育経費以外の交通費や宿泊費等が想定されています。

21. 看護系の学部・学科、大学院のTA・RAについて

Q35. 2025年度の看護系の学部・学科、大学院のTA・RAの勤務状況と時給額についてお伺いします。〔各数値回答〕

※年度内に改定があった場合には、2025年5月1日時点の状況でご回答ください。

（注）当該項目の内容が無い場合は、何も記入しなくて結構です。（TA・・・Teaching Assistant RA・・・Research Assistant）

	年間総人数	年間総勤務日数	時給額 ※
博士前期課程 （修士）TA	人	日	円
博士後期課程 （博士）TA	人	日	円
博士後期課程 （博士）RA	人	日	円

※ 経験により差がある場合は最頻値を記入してください。

22. 本調査に関するご意見、ご要望について

Q36. 本調査に関するご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました。
こちらのファイルを保存のうえ、ご提出いただきますよう、お願いいたします。